

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 3月号

令和5年 2月 28日

校長 大越 敏孝



卒業式・修了式に向けて ～地域の感染レベル引き下げと学校の対応について～



満開の梅の花や河津桜が見られる季節になり、汐小前の浜辺も暖かな日差しに包まれる日が多くなってきました。新型コロナウイルスが発生してから4度目の春を前に、感染症への対応も緩和の方向に向かっていきます。先日お配りした茅ヶ崎市からのお知らせにもありましたように、2月22日（水）より学校生活における地域の感染レベルは「1」に引き下げられました。それに伴い、市の学校生活における感染症対策のガイドラインも変更となり、飲食時の対応や卒業式におけるマスクの着脱についても示されました。

学校では、コロナやインフルエンザによる学級閉鎖もなくなり落ち着いて学習のまとめに取り組んでいます。黙食の緩和により、6年生の卒業給食を皮切りに、ランチルームでの各学級の給食も始まりました。感染症対策だけでなく、食事のマナーとしての会話の仕方に気をつけながら、少しずつ子どもたちの笑顔が見られる楽しい給食の時間にもどりつつあります。4月1日以降の新学期におけるマスクの着用の考え方や感染症対策についての留意事項については、改めて国・県より通知が出される予定です。それまでは、文科省の「衛生管理マニュアル」や市教委の「ガイドライン」を踏まえつつ、めりはりのあるマスクの着脱を促しながら教育活動を進めてまいります。



ランチルームで互いの顔が見える卒業給食
(アクリルボードを設置しています)

今後は今までの感染症対策から緩和された対応に変更されていくと思われませんが、コロナは完全に収束した訳ではありません。コロナをきっかけに親戚や身近な方を亡くしたという話も聞いています。引き続き感染防止に努めなければならない持病をもった方、高齢者や医療従事者がいらっしゃるご家庭もあります。マスクの着脱については、様々な事情により「外すことができない人」、「周囲に着用を希望する人」、「着用できない人」等がおられます。これらの状況が原因となって、嫌な思いをしたり、辛い気持ちになることのないように、子どもや大人も、マスクの着脱にかかわる理由や思い等について、互いに理解し合い、尊重していくことが大切だと思います。マスクの着脱による偏見や差別がないように学校でも指導してまいります。ご家庭でもお話いただけますようお願いいたします。



来年度の新入生に1年生から合奏のプレゼント

さて、2月の授業参観・懇談会には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちの学習や発表の様子をご覧になって、1年間の成長を感じられた方も多くいらっしゃったのではないかと思います。2月21日（火）には、湘南キッズステージの年長児の皆さんが学校の見学に来られました。1年生は、歌や合奏、お話を通して交流も行い、緊張気味の園児の皆さんの表情も次第に柔らかくなっていきました。1年生も4月から一つお兄さん・お姉さんになることを楽しみにしてるようでした。

また、2月24日（金）は、6年生の卒業をお祝いする今年度最後の「スペシャルななかよしのわ」がありました。5年生が中心となって進行し、みんなで祝いのメッセージを伝えたり、遊んだりして楽しい時間を過ごしました。6年生からのお礼の言葉の場面では、「なかよしのわで、1年生から6年生まで一緒に過ごす時間を通して、つながりを持つことを大切にしてほしい」と話している子がいました。汐見台小が開校以来続けている1～6年生を縦割りにした異学年交流のつながりへの思いが、心の中に刻まれていることを嬉しく感じました。6年生の思いを受けて、5年生も自分たちが次の最高学年であり、その役割を担っていかねばならないことを意識する時間にもなったようです。



卒業していく6年生と最後の「なかよしのわ」

今年度も残りわずかとなりました。新1年生を迎える準備も始まり、6年生は小学校生活6年間の節目としての卒業式に向けての取り組みが始まりました。コロナ禍の3年間を振り返り、別れを告げる汐見台小学校への思いをこめて練習しています。どの学年も、新しい学年への進級や中学校への進学に向かって充実した1ヵ月にしたいと考えています。

3月1日(水)よりCOCOOによる欠席連絡システムの運用を開始します!!

お子さん一人ひとりの保護者登録がまだお済みでない方がいらっしゃいます。至急登録をお願いいたします。
*茅ヶ崎市立松浪中学校・浜須賀中学校に進学する6年生は、入学後の登録となります。